

\ オンライン /

ファイナルデモ開催

2022年 **2月28日(月)**
15:00 ~ 17:30



登壇者プロフィール
登壇順にご紹介!



1

株式会社Kiwi



代表取締役
大石 杏衣氏



医療機器のわからないを解決するwebサービス「キキサポ」の事業化を目指しています。病院では、医療機器がなければ診断も治療もできない時代になっています。しかし、種類が膨大にある医療機器の教育体制は医療機関によって大きな差があります。しかも、コロナの影響で対面の教育が難しくなっており、さらに深刻化しています。私自身の臨床工学技士の経験を活かし、医療機器に対する苦手意識や不安の解決と医療安全を目指します。「キキサポ」は、いつでもどこでも医療機器の正しい使い方を学べ、疑問や質問、ノウハウの共有ができるWebサービスです。株式会社Kiwiは医療機器に関わるすべてのひとに安全を安心を届けることを企業理念とし、医療に貢献します。

2

アンドフォーアス株式会社



代表取締役
柴田 駿氏

"&for us"はエンディングノート・遺言のDXを目指すWEBサービスです。1問1答形式で自身の情報の入力を行うと、家族に共有すべきデータベースや遺言書が自動作成されます。

このサービスを通じて私たちは、『何から始めたら良いかわからない』『なんとなく気まずくて家族でも話づらい』『遺言書が発見されない』など今までの終活の課題をデジタルの力で解消します。

『死』を考えることは、人生を前向きに生きること』というビジョンのもと、20代~50代、相続診断士、元葬儀屋、大学院生、弁護士、エンジニア、クリエイティブ等、多様なメンバーが集まっています。



3

池野 順子 (個人参加)



代表
池野 順子氏



脱毛症や抗がん剤で髪を失った人が、髪がない事を理由に、できない事、しない事をなくす為のウィッグを開発しています。開発中のウィッグは、ズレや外れるなどの心配や、肌への負担を軽減し、さらに水中での使用やアップにできる事を目指しています。私は4年前に汎発性脱毛症を患い髪を失いました。既存のウィッグを使っていますが、簡易な調節ベルトと両面テープしか固定の方法がありません。文化服装学院を卒業し、約24年間、国産、外資のアパレルブランドの商品企画に参画してきました。アパレルの技術を踏襲してウィッグを作る事を決意し、大手ウィッグメーカーのバックヤードでケアなどを学び、昨年より本格的にウィッグの開発を開始しました。一人でも多くの人が前向きな人生を楽しめるように事業に取り組んでいきます。

4

CArium+



代表
小佐々 大熙氏



私たちは【ペットの寿命=健康寿命】を全うできるようにするため、テクノロジーでペットヘルスケア業界のスタンダードを発展させていくことを目指しています。

獣医療の世界は人間の医療と比べて、画一されたスタンダードがない、電子化も進んでいないためデータが蓄積されていないなど、まだまだ問題が多くあります。そのように多くの課題を抱える獣医療業界を変えるため、まず私たちは獣医師をサポートするための問診アルゴリズムとデジタル化された獣医療情報を届けるサービスの開発を目指し、連携動物病院と共にデータ蓄積および問診アルゴリズム開発を行っております。

5

undays



代表
日野 雄介氏



年齢/性別/人種/職業/地位を超えてつながるメタバースの創出がミッション。具体的には、時代と共に消失した隣人関係を代替するコミュニティを、オンライン空間上に現出させます。「ニッチコミュニティ=民主化された小さなオンラインサロン」を量産するSNSアプリを開発中。その他、Didcord上でご近所付き合いができるコミュニティの運営、外見ではなく中身でつながるマッチングアプリをリリース予定(2022/2末)。